

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部地域における ヤクタネゴヨウ生育調査 (平成 21 年度)

**考察

①西部地域のヤクタネゴヨウ群落はイスノキやクロバイ、マテバシイ、ウラジロガシ等照葉樹の旺盛な生育箇所であり、痩せ地であった尾根部にも徐々に照葉樹の落葉腐植層(リター層)が堆積しつつあり、ヤクタネゴヨウの根元付近の土壌環境が変化しつつあった。② 62 本のヤクタネゴヨウ単木モニタリング木は、やや衰退しつつある個体や、やや健全になりつつある個体が混在していて、おおむね 5 年前との変動は少なかった。③ 枯死した 1 個体(標高 700m)は風衝によるものである可能性が高い。④ 非常に衰退していた個体(標高 380m)は、衰退原因がわからない。特徴としては、根株付近にシロアリの穿入痕が多く見られ、木材腐朽菌の被害を受けていた。⑤ 標高 400 ~ 600m 付近までのヤクタネゴヨウ大径木の衰退木の多くの根株には、シロアリ侵入痕が見られ、現地検討会では、標高別のシロアリ穿入経過と根株腐朽との因果関係を研究する必要性が提案された。⑥ 前回からの調査で、この 5 ~ 6 年の間に枯死したことが確認された西部地域におけるヤクタネゴヨウは、計 6 本となった。その内 3 本が風衝・風倒原因で枯死し、1 本が原因を特定できず、2 本が風衝によるものではないかと推測された。なお、西部地域には 1 千数百本以上のヤクタネゴヨウが生育している。また、屋久島南部や北部では、マツノザイセンチュウによるクロマツ枯死が継続的に見られるので、巡視や伐倒駆除等のマツ枯れ対策を引き続き継続・強化する必要がある。⑦ ヤクタネゴヨウの当年性実生苗は数多く確認されるが、照葉樹による被圧やその他の理由により、3 ~ 20 年生程度の幼齢木は極めて少なく、将来的に健全な更新は期待できない。そのため、実生苗から幼齢木へと生長する環境を調査し、幼齢木が健全に更新するためのプロセスを明らかにして、そのプロセスを阻害する要因の把握と、阻害要因を排除する保全措置を検討する必要性から、今後も同様のモニタリングを継続的に実施していくことが望まれる。

ヤクシマシヤクナゲの開花時期を迎え、屋久島森林生態系保全センターでは、例年、登山者が多くなる時期に屋久島森林管理署と協力し「シヤクナゲパトロール」を行っていただきます。
 本年は 5 月 27 日(月) ~ 6 月 7 日(金)を計画。高山植物の盗掘防止や登山マナーの呼びかけを行うこととしています。今年は春先の温暖な気候の影響もあってか例年より開花が早いようですが、これから開花を迎えるつぼみも

「シヤクナゲパトロール」開始
 ~ 登山者へ安全など呼びかける ~

まだ見られません。屋久島世界自然遺産登録 20 周年を迎える本年、安全に注意し多くの



ピンクの花を開いたヤクシマシヤクナゲ
 (後方の山は黒味岳(1831m))



永田岳付近のヤクシマシヤクナゲ

方々が屋久島の悠大な自然に触れていただければと思っております。

登山者のマナーも向上していますが、小屋周辺にゴミが落ちていたり、ゴムキャップが装着されていないストックを使用しているなど一部心ない登山者もいるようです。今後引き続き呼びかけを行うなど登山マナーの向上に取り組むこととしています。

川端森林管理局長が 屋久島視察

4 月に着任された川端省三局長は 5 月 16 日から 17 日の二日間、屋久島森林管理署管内の視察を行いました。

初日は安房貯木場の土埋木を視察した後、千尋の滝や大川の滝の風景林、西部林道の垂直分布状況等を視察。また、宮之浦林道ではヤクシカの食

屋久島の植物



シライトソウ
 (ユリ科)

本州(秋田県)以南に分布する多年草。山地の林内や谷沿いに生える。屋久島では標高 500 付近の林道脇に多い。普通、花茎は 40 程度になるが屋久島のは 10 ~ 20 程度と短い。茎頂に繖状花序を出し、白花を多数つける。
 花期 5 ~ 6 月



くくり罫の説明を受ける局長

は荒木耕治屋久島町長を訪問し、視察の感想を交えて懇談を行うなど、盛りだくさんの内容で全日程を終了しました。

森林保護員による 森林パトロール実施

屋久島森林生態系保全センターでは、本年度も森林保護員(グリーンサポータースタッフ)による森林パトロールを実施しています。5 月から二人一組で、登山道周辺等森林における植物荒廃の状況把握や植物の盗採・盗掘、樹木損傷等の防止、登山マナー向上の呼びかけを実施しています。登山者の皆さん方のご理解・ご協力をお願いします。

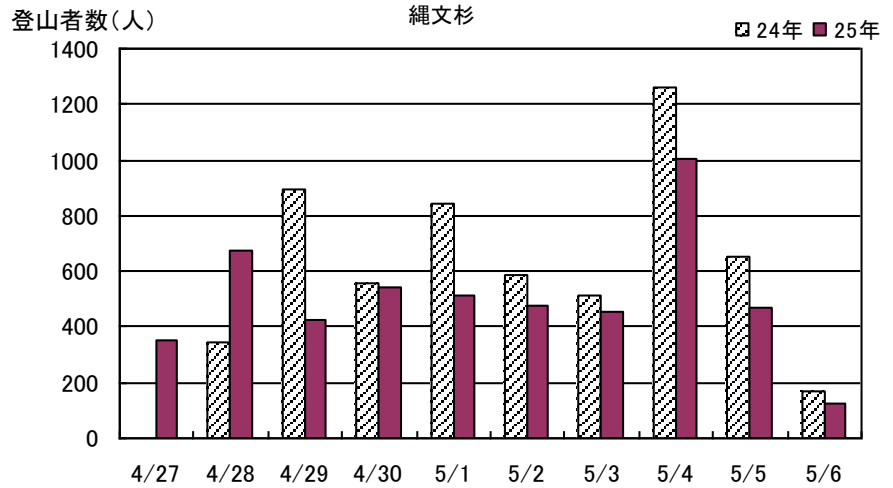
視察の間、屋久島森林管理署と屋久島森林生態系保全センターの職員に對して、一般会計移行後の円滑な業務運営について局署連携して取り組む旨訓示があり、最終日に



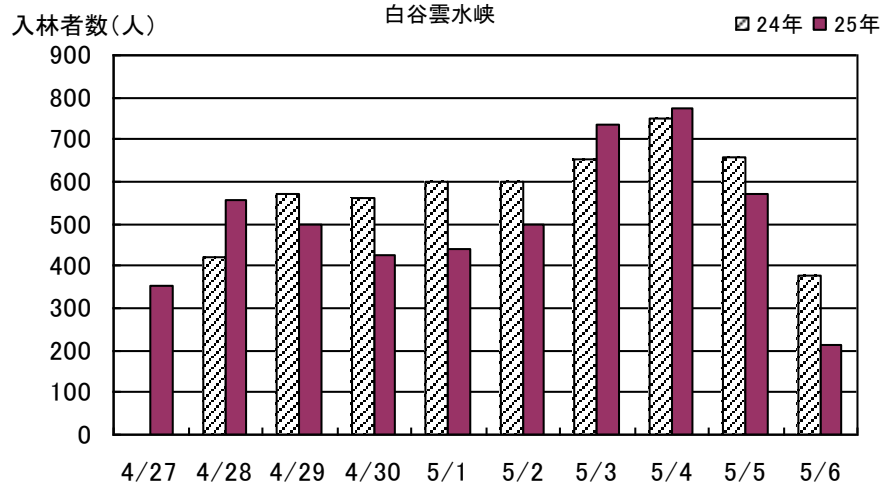
パトロールに向かう保護員

【GW期間中における縄文杉登山者数と自然休養林入林者数】

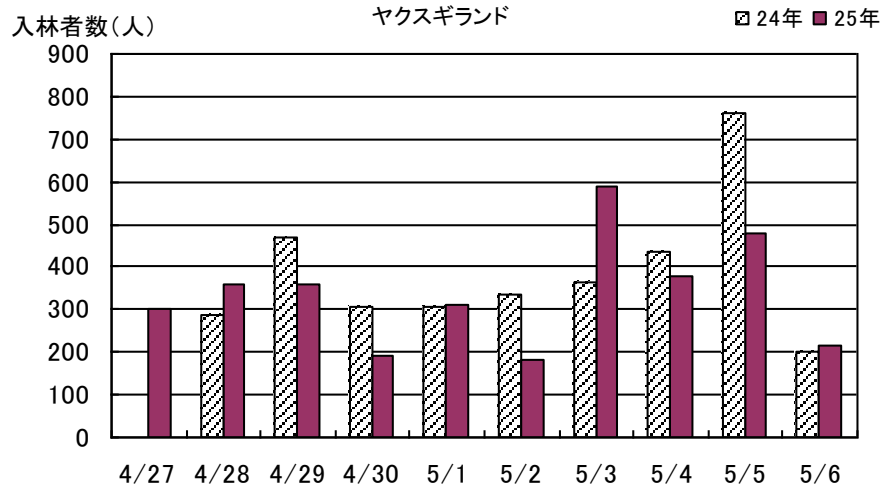
	縄文杉		
	24年	25年	前年比
4月27日	—	354	—
4月28日	344	674	+330
4月29日	892	423	-469
4月30日	555	545	-10
5月1日	844	511	-333
5月2日	590	479	-111
5月3日	514	457	-57
5月4日	1,259	1,007	-252
5月5日	649	472	-177
5月6日	165	128	-37
合計	5,812	5,050	
日平均	645.8	505.0	-140.8



	白谷雲水峡		
	24年	25年	前年比
4月27日	—	351	—
4月28日	422	556	+134
4月29日	572	497	-75
4月30日	561	426	-135
5月1日	600	440	-160
5月2日	598	500	-98
5月3日	653	737	+84
5月4日	750	773	+23
5月5日	656	573	-83
5月6日	379	211	-168
合計	5,191	5,064	
日平均	576.8	506.4	-70.4



	ヤクスギランド		
	24年	25年	前年比
4月27日	—	301	—
4月28日	289	357	+68
4月29日	467	359	-108
4月30日	308	191	-117
5月1日	307	312	+5
5月2日	335	182	-153
5月3日	363	591	+228
5月4日	438	377	-61
5月5日	763	478	-285
5月6日	203	215	+12
合計	3,473	3,363	
日平均	385.9	336.3	-49.6



*24年は9日間、25年は10日間の合計及び平均。

*■：休日

*縄文杉登山者数は屋久島山岳部利用対策協議会の調査、自然休養林入林者数は屋久島レクリエーションの森保護管理協議会の調査による。